

## 『救急連絡シート』についての救急隊員の声

- たくさんの質問をする時間が短縮でき、搬送時間の短縮につながっています。
- 高度救命処置が必要な場合、家族への同意を取るために、連絡先などが速やかに把握できると、早期に処置が行えます。

救急隊歴 20年 N副主幹



- 医療機関選定に必要な情報(既往やかかりつけ)が速やかに把握でき、傷病者の負担軽減につながっていると思います。
- 共通の書式が定着することで、情報収集のスピードアップにつながると思います。

救急隊歴 6年 W主任



- ケースファイルを見ながら救急隊員への情報提供を行う施設職員が、必要な情報がどこに書いてあるかすぐに見つけれないことがあります。救急連絡シートをファイルの先頭につづっていただと良いと思います。
- 救急連絡シート等を事前に作成されている場合とそうでない場合では、情報把握に費やす時間が、感覚的に5～10分の差があるように思います。
- 高齢者のみの世帯で、玄関や寝室に救急連絡シートが置いてあり、スムーズに支援者に連絡が取れて大変ありがたかった事案がありました。

救急隊歴 20年 Y副主幹



- 救急連絡シートには、救急隊が真に必要な情報を項目立てし、網羅しています。
- 日頃から用意していただくほか、記載内容の更新もお願いしたいです。

救急隊歴 7年 K主査

